

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>○漢字の読み書きや語彙の理解が苦手な生徒が多い。</p> <p>○記述問題に対する苦手意識が強く、減点されずに完答できる生徒が少ない。</p>	<p>○漢字の小テスト、言葉集めや短文作成を計画的に行い、知識の習得と活用を図る指導を行う。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「①問われている内容を理解すること」、「②主体的に思考し、自分なりの答えを導き出すこと」、「③条件に沿って表現を工夫し、適切に答えること」を、それぞれ丁寧に繰り返し行う。</p>	
社会	<p>○基礎的・基本的な知識の定着とその活用に個人差がある。</p> <p>○既習事項を生かして文章を書くことが苦手な生徒が多く、思考力・表現力に課題がある。</p>	<p>○定期的に単元テストを行い、知識の習得と活用する力の育成を図る。</p> <p>○毎時間振り返りを文章で書かせることで、思考力・表現力を高める。また、タブレット端末を活用して、他者の意見を視覚化することで、自己の考えを深めさせる。</p>	
数学	<p>○中学数学で基礎となる四則演算でつまづいている生徒がいる。</p> <p>○思考力・判断力・表現力を必要とする発展的な問題につまづく生徒が増えてきている。</p>	<p>○定期的に小テストを行い、補習を開き、反復練習を多く取り入れる。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、問題解決の場面で、どの知識・技能を使うのか、全体で確認し、整理してから問題演習に取り組む。</p>	
理科	<p>○理科に対して興味を示す生徒が多く、授業中の発言が多い。</p> <p>○実験や観察などを小学校時にあまり行われてきていない感がある。</p> <p>○発言や表現のうまさを感じる。</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、生徒の発言を、クラス全員で共有し、他者とかかわりながら、考えを膨らませていく。</p> <p>○消極的な生徒が実験や観察で技能を上げられるように、パフォーマンステストを何度も取り入れたい。</p> <p>○良い発表や考えを、学年全員に伝えていく。さらに、タブレット端末を活用し、実験結果や観察結果を記録させることで、その後の検証をさせやすくする。</p>	
音楽	<p>○全体的に、授業に積極的に取り組む生徒が多い。感染予防対策で、歌唱の授業ができず、変声期に応じた発声練習などが不十分であり、混声合唱ができていない。</p> <p>○伝統文化などの授業にも意欲的であり、鍵盤や和楽器の練習にも一生懸命取り組む姿勢がみられる。</p>	<p>○歌唱ができるようになれば、男子への発達段階を考慮しながらの個別指導をしていく。合唱ができるようになれば、美しい音色の作り方や、仲間と演奏する楽しみが感じられるような合唱ができるように授業作りをする。</p> <p>○実技の技能向上や、音楽表現力を育てるために、多様な音楽に触れさせ、耳を育てていき、実技の授業を増やしていきたい。</p>	

美術	<p>○デッサンにおける鉛筆の使い方や色彩の基礎的な知識を身に付けようとする生徒が多く、それぞれが力を伸ばすことができた。しかし、特にデッサンにおいて集中しきれない場面や習った技法をより工夫して活用できる余地も見られた。</p>	<p>○時数の限りはあるが、描く枚数を増やしていきけるようにする。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、お互いの作品を鑑賞する際に、ただ見るのではなく、良さや工夫を発言させる時間をさらに設け、各自の作品に活かすことができるようにしていく。</p>	
保健体育	<p>○運動活動に積極的であり、仲間と交流しながら取り組むことができるが、力の出し方を調整する力に課題がある。</p> <p>○目標に向かって一生懸命取り組むことができるが、よりよい技法を選択したり、技能を向上したりすることに課題がある。</p>	<p>○自己の力を知るために、さまざまなスポーツに触れたり、用具に触れたりする時間を増やす。</p> <p>○目標設定のあとの活動の中で必ず課題発見の時間をつくり、改善方法の選択肢を多く提示しておき、個にあった取り組みができる授業を行う。</p>	
技術家庭	<p>【技術】</p> <p>○作品制作に対する継続的な作業を進めることが困難な生徒がいる。</p> <p>【家庭】</p> <p>○栄養・調理に関する興味関心が全体的に高く、発表や発言により生徒同士の学びにつながった。</p>	<p>【技術】</p> <p>○作業内容の細分化を実施し、その成果を生徒とともに確認して進める。</p> <p>【家庭】</p> <p>○調理の技能を定着させるために、調理実習を計画的に進めていく。実施が難しければ、家庭での課題を与え、技能の向上を図る。</p>	
外国語	<p>○4技能の中で、小学校で「聞く」「話す」の授業中心であったことから、「書く」を苦手とする生徒が多数いる。</p> <p>○不得意とする生徒が顕著となってきたことから、外国語に抵抗がなくなるよう授業体制を整える必要がある。</p>	<p>○知識の習得と活用を目指し、各授業に「書く」ことを少しずつ取り入れ、自宅でも自身で取り組める活動を行っていく。また、単語テストなどで定着を図る。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、外国語を得意とする生徒と不得意とする生徒とのペアを作り、得意な生徒がその他の生徒に教える体制を作り、協力し合って授業に取り組ませる。</p>	

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>○授業アンケートの結果、80%以上の生徒が授業にも家庭学習にも積極的に取り組んでいると回答していた。</p> <p>○また、50%近い生徒が毎授業ごとの学習目標が理解しにくいと回答している点が課題である。</p>	<p>○単元や教材ごとの目標に加えて、毎回の授業ごとに、その時間の学習目標を更にわかりやすく示すことに留意する。</p> <p>○それとともに、生徒自身に「何を学ぶか」ということを考えさせることで意識を深め、意欲を高めるような指導を工夫し実践していく。</p>	
社会	<p>【歴史的分野】</p> <p>○学習への意欲は高く、発言をする生徒が多い。ノートにまとめる能力も高い生徒が各クラスにいる。基礎的な知識を定着させ、授業内で主体的に取り組む中で、思考・判断・表現の力を付けさせることを意識したい。</p> <p>【地理的分野】</p> <p>○学習への意欲は高く、発言をする生徒が多い。グラフや図から課題を読み取る力もついてきたので、そこから対策を考える主体的に取り組む力を育てたい。</p>	<p>【歴史的分野】</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、黒板に書いた内容だけでなく、自分で考えたこと、わかったことなどをノートにメモをしている生徒を、他の生徒にも紹介し、学年全体が主体的に思考・判断・表現できるようにしていく。振り返りの学習を定着できるようにする。</p> <p>【地理的分野】</p> <p>○グラフや図から課題を読み取り、それを個人で考えてから、4人程の小グループで意見交換する機会を多くし、思考・判断・表現をできるようにする。振り返りの学習を定着できるようにする。</p>	
数学	<p>○少人数授業の利点をいかし、周囲で学び合いながら課題に取り組むことができているが、基礎基本事項の習得状況に個人差が大きく、取り組もうとしてもポイントがいまいち掴めない生徒も多い。</p> <p>○既習事項を活用した発展的な問題や文章の問題になると、解決できない生徒が少なくない。</p>	<p>○授業冒頭には復習ドリルの取組を徹底し、基礎基本となる計算力の定着を図る。</p> <p>○本時の目標を明確にし、生徒の習熟に合わせた課題に取り組むことで、基礎基本となる知識・技能の定着を図る。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、思考力を養う問題や発展的な内容には ICT 機器を活用したり、グループ活動を取り入れたりしながら、問題解決できる能力を養う。</p>	
理科	<p>○授業や実験は自分自身で関心をもって熱心に取り組む生徒は多いが、前年度と比較して自分の考えを表現する力が低くなっている。</p> <p>○基礎的な学力は授業内で理解しているものの考査等で力を発揮できていない生徒が少なくない。</p>	<p>○考察等で考えるヒントを提示し、筋道をたてて自分で説明できる力を養う。またその考えを自分の言葉で表現していく。</p> <p>○基礎的な学力の一層の定着とその活用を目指し、授業内での問題演習の時間を多く設け、最終的には応用力へとつなげていく。</p>	
音楽	<p>○全体的に、音楽が好きな生徒が多く、意欲的に取り組む生徒が多い。特に、器楽の授業は、練習に一生懸命取り組む姿勢がみられる。話し合う活動自体には慣れているが、音楽的な内容が伴っていないことが多くみられるので、音楽用語などを身に付け</p>	<p>○調べ学習や、楽典の学習を充実させ、音楽的要素を取り入れた文章作りや、創作、それに伴った演奏ができるような授業作りをしていく。</p> <p>○歌唱ができるようになれば、パート練習や合唱曲を通して、美しい音色の作り方や、仲間と歌う楽しみが感じられるようにしたい。</p>	

	<p>させることが課題である。</p> <p>○歌唱は、感染予防のため、1年時に歌う機会がなかったため、苦手意識が多い生徒が多く、これらを克服させることが課題である。</p>	<p>○実技の練習では、ペア学習やグループ活動を取り入れながら、技能の習得の向上を目指し、充実度チェックを行っていく。</p>	
美術	<p>○主体的に取り組む生徒が多くいる一方で、機械的に作業するだけの生徒がいた。</p> <p>○立体制作において、立体をイメージできない、習った技法を活かしきれない生徒がおり、作品の完成度に差があった。</p>	<p>○制作進行をよく観察し、全体指導と個別指導を効果的に行っていく。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、お互いの作品を鑑賞する際に、ただ見るのではなく、良さや工夫を発言させる時間をさらに設け、各自の作品に活かすことができるようにしていく。</p>	
保健体育	<p>○今年度より男女共習・授業ひとクラス（単級）となり、異性がいるためか周りの様子や動きを見てしまうため、行動力が押さえられてしまっているように見取れる。</p>	<p>○単元毎に競技の特性を利用して、男女混合グループ・別グループや、習熟度(技能力)別に編成して取り組み、活動を工夫して進め意欲を掻き立たせ、教え合える環境を作る。</p>	
技術 家庭	<p>【技術】</p> <p>○作業での意欲と座学での意欲の違いが大きい生徒がいる。</p> <p>【家庭】</p> <p>○衣生活の基礎について興味をもって学び、表現する力を身に付けることができた。</p>	<p>【技術】</p> <p>○作業の手順のみ確認し、実際に作業をしてその内容や意味・しくみ等の講義をして知識・技能の定着につなげる。</p> <p>【家庭】</p> <p>○豊かな衣生活を目指し、製作活動を充実させていく。個々の能力に応じて創意工夫を生かせるよう助言し、技能の定着につなげる。</p>	
外国語	<p>○生徒によって、英語力の個人差が見られ、二極化しつつある。</p> <p>○4技能のうち、話すことが苦手な生徒がいる。</p>	<p>○習熟度別授業を行っている。基礎クラスは反復練習を増やすことで、基礎の定着を図る。学力レベルが近い生徒で、ペアワークを行うことで、意欲の低下を防ぐ。</p> <p>○スモールステップで指導する。沢山のモデル文をインプットさせて、それらのモデル文を応用してオリジナルな意見が言えるようにする。</p>	

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○真面目な態度で受ける生徒は多いが、積極的に発言する生徒が少ない。 ○作文など「書く力」の基礎の力はあるが、具体性や語彙力に欠けている。 ○漢字の読み書き、基礎的な知識の理解が取組状況の割に、不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極性や主体的な取組の重要性を伝え、頑張りを評価していく。 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現と基礎・基本的知識の定着を確実にするため、教え合い・学び合い活動を多く取り入れ、語彙力の強化や作文指導などの発展的内容を盛り込み、身に付けさせる。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的基本的な知識の定着度に差が見られる。 ○学んだことや資料から読み取った事実を土台に思考し、判断し、言語化して表現する力をもっと鍛える必要がある。 ○生徒によって、主体的な学習態度に高低差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の最後に、授業を振り返り、自分の考えをまとめ、表現する時間を設定し、基礎・基本の定着を図る。 ○「主体的・対話的で深い学び」を目指し、話し合いやレポートの作成を行う機会を増やす。良いレポートを社会科通信でみなに紹介する。 ○授業を通して自分の成長が確認でき、そのことに喜びに感じられる機会を作る。そのために、話し合い活動等を充実させる。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な計算能力は定着し、積極的に発言したり、学び合いながら課題に取り組む生徒が多くいる一方で、定期考査等で力を十分に発揮できない生徒もいる。 ○思考・判断・表現を要する問題に関しては、既習事項とのつながりや考える方に、苦手意識をもつ生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業開始時には復習ドリルに取り組み、クラスでは習熟に合わせた課題の反復練習を多く取り入れ、基礎基本となる計算力の定着を図る。 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けなぜ？と考える発問を増やし、他者と学び合いながら思考を広げ、好奇心をもって課題に取り組めるよう、学習意欲の向上を図る。 ○レポート課題の取り組みから、既習事項をふり返り、考察し記述する力を養う。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○実験に対して主体的に取り組む姿が多く見られる一方、結果から考察へとつなげて考えることが苦手な生徒が多い。 ○基本的な学習内容は小テストなどを通して定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、実験だけでなく自分で考える場面を多く設けていく。グループ内での発表などを通して他者の意見を取り入れながら多角的な考え方を取り入れる機会を増やし、自分で考察できる力を培う。 ○過去の学習内容にも着目し、現在の学習内容と関連付けながら基礎基本の徹底を図っていく。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に、授業に積極的に取り組む生徒が多い。感染予防対策で、3年間、歌唱の授業ができず、発声練習などが不十分であり、難易度の高い合唱曲や、混声合唱が十分に歌唱できていないことが課題である。 ○器楽や鑑賞にも意欲的でグループ活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱ができるようになれば、美しい音色の作り方や、仲間と歌唱する楽しみが感じられるような授業作りをする。 ○鑑賞等では、音楽的要素の語彙の使い方、それに伴った演奏ができるように、促していく。 ○ペア学習やグループ練習を多く取り入れる 	

	<p>や練習にも熱心に取り組むことができるので、音楽表現力の工夫を高めることが課題である。</p>	<p>ことで、実技の技術の向上に繋げていく。他者へのアドバイスをすることで、自分の課題を見つけ、それを解決していく力を身に付けさせていくようにする。</p>	
美術	<p>○主体的に取り組む生徒が多く、それぞれが工夫して制作することができた。しかし、「思考・判断・表現」の部分で、構図や配色において、資料やクラスメイトの表現から学びとってさらに工夫できる余地があった。</p>	<p>○構図や配色について、全体指導と個別指導をより工夫していく。 ○お互いの作品を鑑賞する際に、ただ見るのではなく、良さや工夫を発言させる時間をさらに設け、各自の作品に活かすことができるようにしていく。 ○タブレット端末を活用することで、制作の資料を集めたり、班で情報を共有したりして、興味・関心を高めさせる。</p>	
保健体育	<p>○特定の仲間と交流することで、積極的な取り組みが見られるが、ゲーム形式のグループ活動になると、積極性が減るため、運動活動中の学びができていない。 ○スポーツの知識・理解に差があり、活動中に意欲的な姿勢が見られない。</p>	<p>○少グループでの取り組みの中で、変化のある動きや異なるグループの活動を増やし、運動時間の確保をしながら、様々な人と関わって活動する機会を増やす。 ○單元ごとに必ず、知識の確認と理解をさせてから、運動活動を行うようにし、深い学びにつなげる。</p>	
技術 家庭	<p>【技術】 ○日常生活などから身に着けた知識や語句を本来の意味等を取り違えて使用したり覚えていたりする場合がある。 【家庭】 ○自分の成長と重ねながら乳幼児の心身の発達に関心をもって学び、知識・理解を高めることができた。</p>	<p>【技術】 ○本来の意味や知識を説明し、今までの知識とリンクさせるために使用例などをおりまぜながら進めていく。 【家庭】 ○乳幼児の発達段階の課題に沿って、グループごとにふれあい活動の準備を行い、創意工夫し解決できるよう進めていく。</p>	
外国語	<p>○即興的な発話活動など積極的に取り組む生徒が多い。ただ、単語や文法など既習の学習内容の理解度に差があり、小テストや定期考査の結果において二極化している。 ○思考・判断・表現の能力では、英作文や、初見の長文読解を苦手としている生徒が多い。</p>	<p>○知識の確実な習得と活用に向け、授業内でも1、2年次の内容の振り返りを定期的に行っていく。 ○語彙力の強化を図り、読解速度を上げるとともに、基本文を基に部分的に語句を自分自身のことに変えて作文するといった活動を多く行っていく。</p>	